



谷戸大竹レポート

第4号

伊勢原市・谷戸大竹自治会

平成23年3月16日

できたぞ、ぼくらの安全歩道！

……長年の懸案がようやく解決……

谷戸集会所の方から伊勢原駅方面に進むと、八幡台ヒルズ前交差点直前は、道幅が急に狭くなるばかりか道路左手が約1メートル落ち込んで、歩行者は危険と隣り合せておちおちと歩いてはいられない、車は脱輪が心配といった状況だったのですが、ようやく右の写真のように転落防止策とガードレールの付いた歩道となり、歩行者も車も安全・安心となりました。



因みに、下の左の写真は一昨年夏の状態、下の右は今年1月の土木工事直前。交差点手前の道路の狭さと落込みがよく分かります。子どもたちも大人も、歩くのが大変だったのです。なお、完成した歩道の真ん中部分には以前は電柱が立ち、支線が張ら



れていました。昨年5月からこの電柱移動となったのですが、これが大工事でした。ご存知のように、電線、電話線、信号機、防犯灯などありとあらゆるものが付いていましたから。



本レポートの以前の号でも既報のように、この部分に歩道を付けて欲しいという要望はかねてから小学生

の母親を中心に出されてきました。しかし市の財政難の折からなかなか進展しませんでした。そこで、「とにかく危険をなくするのが先決。地元の者たちで土嚢積みをするから許可して」とか、市長を囲んでの自治会要望の場で詳細文書を出したりとか、粘り強く工事要請を続けた結果、工事決定に至ったものです。そして、昨年5月からの電柱移動、本年1月からの土木工事、本年2月の完成となったものです。

本工事では、特に市土木部土木維持補修課にお世話になりました。同課の皆さんをはじめ関係各位に厚く御礼申し上げます。

貸しコンテナ敷地からの雨水流出対策も完了！

同上交差点から谷戸集会所方面に下ると左側に貸しコンテナヤードがあり、その下側の出入口からは、ちょっとした雨の度に雨水・湧水が道路いっぱい流れ出し（写真左は昨年10月撮影）、1週間程度流れ続けるのも珍しくなかったのですが、その対策工事もこの度終了しました（写真右。本年2月撮影）。



過去に頻発したバイクのスリップ事故も、歩行者の足元が濡れるのも、これで一件落着。実は記録では数年前にも流出防止策がとられたとあるのですが、実態は左写真の通りでした。そこで本年1月、地権者である伊勢原市内の太田屋さんによる、写真右の側溝工事、つまり万全な雨水流出防止工事がなされたものです。太田屋さん、ありがとうございました。

1.23 婦人の会

楽しく語りました!

(14人の方がご出席)



明るいLED防犯灯が6灯に!

市は4年計画で市内防犯灯の照度アップのためのLED化を進めていますが、当地区のLED灯は現在6灯となっています。当自治会に割り当てられたLED灯は年間1灯、4年で4灯ですが、従来の防犯灯の機器が壊れてしまった場合はLED灯が設置されることになっているので、これまでの2年で6灯となったものです。

このLED灯、皆さんも体感されたでしょうが実に明るい。従来の防犯灯は20w蛍光灯なのですが、LED灯は32w相当の明るさだということです。なお従来タイプの防犯灯設置コストは1基約1万円、対してLED灯タイプは1基5万円弱だそうです。防犯に役立ってくればいいですね!



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

3.5 伊中ふれあい美化活動

……当地区中学生7名のうち4名参加。
自治会からは2名参加。

3.6 市民総ぐるみ大清掃

……30名の方々が参加。2日続きの
→
大清掃で綺麗になりました。



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

東北関東大震災に思う。

3月11日午後2時46分頃に起きた未曾有の大震災。被災者の方々の心情は察するにあまりあります。我が友人も彼の地に住んでいるのですが、連絡がとれません。海から1キロ、北上川沿いなのですが。地震発生直後、余震が続く中、我が家の近隣を歩きました。この地は幸いにして被害もなく胸なでおろしましたが、今回のようなケースでは自治会がなすべきこととは何なのだ?という、課題も浮上してきました。……住民の安否確認方式の確立、そのための連絡網作り、自治会長や班長など役員の動き方、各戸の電話番号など個人情報も必要か、などなど。今は何もできていないので、今後の重要課題になります。皆さんのご理解、ご協力をお願いいたします。

(自治会長・舞出記)